

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (東北)	◎	その他小売 [ショッピング センター]（統 括）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いてきたため か、最近、新幹線を含め列車利用客も大幅に増えてきて、 駅に隣接する当館内に入ってくる流動客も増加傾向にあ る。
	◎	観光型旅館（ス タッフ）	来客数の動き	・休前日や休日の動きが良いことに加えて、平日の動きが 3か月前の来客数の3倍となっており、確実に良くなって いるといえる。
	◎	タクシー運転手	お客様の様子	・今月はプロスポーツの試合やイベント、コンサートが開 催されており、そこに集まる県内外からの客が大勢いる。 また、観光地にも多くの流入が認められる。
	○	一般小売店 [酒]（経営 者）	来客数の動き	・プレミアム付商品券や地域共通クーポンが使えるため、 来客数が増えている。
	○	一般小売店 [酒]（経営 者）	販売量の動き	・様々な規制緩和とブロック割や地域共通クーポンなど により県外からの観光客が増加傾向にある。それに伴い観光 施設への販売量が増加している。また、飲食店も少数であ りながら予約も入るようになり、徐々に販売量が上昇して おり、全体的に回復基調にある。
	○	百貨店（催事担 当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況も落ち着き、来客数が増 えている。衣料品を始め、ファッション関連商品の動きも 復調している。
	○	コンビニ（経営 者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響も次第に薄れてきているた め、夜間と週末の動きに回復傾向がみられ、販売量も回復 しつつある。
	○	コンビニ（経営 者）	来客数の動き	・冬が終わったこともあるが、新型コロナウイルスの感染 状況も落ち着いてきたのか来客数が徐々に増えてきてい る。特にホテル下の店舗では新型コロナウイルス発生前 の売上に近づいている。過度な期待は持てないが多少は安心 できる。ただし、経済が活性化してくると人手不足が起き るため怖い。
	○	コンビニ（経営 者）	販売量の動き	・販売量、単価の増加が顕著に表れてきており、新型コロ ナウイルス発生前の状況に戻りつつある。反面、来客数の 減少に歯止めが掛からず将来的な不安につながっている。
	○	コンビニ（経営 者）	お客様の様子	・新型コロナウイルス新規感染者数の減少と気温上昇に伴 い、人の動きが良くなってきている。
	○	コンビニ（エリ ア担当）	単価の動き	・客単価の上昇、人流回復傾向にて、多少数値が改善して いる。
	○	コンビニ（エリ ア担当）	来客数の動き	・政府や県などからの新型コロナウイルス対策の制限を緩 和するコメントが、外出する機会を増やしているとみられ る。飲食店等の利用も増加し、来客数が新型コロナウイル ス発生前に近づいている。
	○	コンビニ（エリ ア担当）	お客様の様子	・どこかに出掛けるという人の動きが多くなってきてい る。
	○	衣料品専門店 （経営者）	お客様の様子	・少しずつ気持ちが外に向いてきているようで、外出の計 画をしたり、出掛けることを想定した買物をする客も出て きている。しかし、年代が上の人は切り替えられずにいる ようである。
	○	衣料品専門店 （店長）	来客数の動き	・葬式や結婚式、出張、就職活動におけるリアル面談の再 開といったことがあり、礼服、スーツが非常に順調に推移 している。
	○	衣料品専門店 （店長）	お客様の様子	・旅行、ブライダルなど、モチベーション需要が新型コロ ナウイルス発生前の状態に戻りつつある。
	○	衣料品専門店 （総務担当）	来客数の動き	・来客数、客単価は前年並みに戻りつつある。
	○	乗用車販売店 （従業員）	来客数の動き	・3月の需要期と比較して、新規来客数は15%増加してお り、成約台数も伸びてきている。
	○	乗用車販売店 （店長）	販売量の動き	・新車部門は車両の生産能力に若干危うさがみられるもの の、ある程度安定した車両供給がされているため、増収傾 向にある。中古車部門はオークション相場が高騰、かつ小 売用の車も追い付かず、減収傾向が払拭できないでいる。
	○	住関連専門店 （経営者）	販売量の動き	・今月は販売量が増加しているものの、受注残分を納品し たためであり、景気はさほど変わっていない。

○	住関連専門店 (経営者)	来客数の動き	・前半は来客数も多かったが、暑さのせい、後半は少なくなっている。客の年齢層が高いため仕方がない。
○	その他専門店 [酒] (経営者)	販売量の動き	・数字はまだまだ小さいが都市部では徐々に飲食店が動いてきている。一般店頭ではまだ悪い状況が続いており、当面は変わらないとみている。全体的に良くなっている状況ではないが若干好転の兆しがある。
○	その他専門店 [靴] (従業員)	販売量の動き	・新型コロナウイルス新規感染者数が下げ止まりから増加傾向になっているため、来客数が思うようには増えてこない。2019年比では80%ほどで回復傾向が一服している。
○	高級レストラン (スタッフ)	来客数の動き	・県民割が延長になり販売が伸びている。問合せも多くあり、来客数も伸びている。
○	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・少しずつ宴会などが入ってくるようになってきている。しかし、会社によってはまだ大人数での飲食を禁止したり、控えるよういわれているため、まだまだ景気は戻らないようである。
○	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・今月中旬辺りから徐々に客が来るようになった。来月の予約等も比較的に入るようになってきている。
○	観光型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・自粛する人が少なくなり、来客数も増加傾向にある。法人旅行も増えてきている。
○	観光型旅館 (経営者)	来客数の動き	・新規感染者数が落ち着いてきていることもあり、活動再開の兆しがある。
○	旅行代理店 (従業員)	お客様の様子	・今月に入り、来店を含め個人の申込みは増加傾向にある。ほぼ国内ではあるが、ようやく海外の申込みも出てきており、これまでの低迷していた状況とは明らかに違っている。また、団体においても個人ほどの増加傾向ではないものの、前月よりは問合せ案件を含め増えてきており、緩やかに回復の兆しがみえてきている。
○	旅行代理店 (従業員)	販売量の動き	・2019年との対比では比較にならないほど悪いが、前年と比べれば良くなっているという水準である。
○	旅行代理店 (従業員)	販売量の動き	・新型コロナウイルス発生前にみられていたボーナス支給後の夏季商戦が今季は明確に販売数値に表れている。コロナ禍でボーナス支給額の低下や支給がなかった前年や前々年とは状況が大きく変化している。
○	観光名所 (職員)	単価の動き	・売場で客の会話を聞いていると、周りに旅行に行くことを伝えてきているようで、土産の購入が以前よりも増えている。それはレジの客単価にも顕著に表れており、新型コロナウイルス発生以来の客単価になっている。
○	美容室 (経営者)	単価の動き	・人に会う機会や出掛けたりする機会が増えたため、パーマやカラーをする客が増え、単価が上がっている。
○	その他サービス [自動車整備業] (経営者)	販売量の動き	・来客数が増え、成約率、契約額共に増加し、販売量も増えている。回復の兆しがみえてきている。
□	商店街 (代表者)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で、商店街の来街者や売上は横ばいとなっている。
□	一般小売店 [寝具] (経営者)	販売量の動き	・相変わらず低迷している。
□	百貨店 (経営者)	販売量の動き	・店頭の販売数量や客の様子を見ても、消費マインドは良い方向に上がってきている。一方で、物価上昇が少しずつ中間層に影響を与えており、お中元商戦の受注件数の減少などに現れ始めている。
□	百貨店 (売場担当)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少傾向になれば購買意欲も高まるとみていたが、改善の兆しがみられない。プレセールの来客数も例年より減っている。物価高が日常生活にも影響し、必需品の買い控えにつながっているとみられる。
□	スーパー (企画担当)	販売量の動き	・物価の上昇により、客の買い控えが続いている。
□	コンビニ (経営者)	来客数の動き	・少し人が動き出してきたが、天候が悪すぎて今のところはなかなか上向いていない状況である。天候が良くなってくればまた変わってくる。

□	コンビニ（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数が少なくなってきて、夕夜間の客が増えてきた。しかし、物価高による買い控えも影響して、売上前年比は100%を少し上回るくらいである。
□	衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・仕入価格の上昇により販売価格も上げざるを得ない状況になり、売上を上げるのが困難な事態になりつつある。
□	衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・前月ほどの勢いはないが、3か月トータルでは売上が増加している。
□	衣料品専門店（店長）	販売量の動き	・6月に入り、コロナ禍で2年間ビジネス衣料を購入していなかったビジネスマンによる購入が増加している。
□	家電量販店（従業員）	単価の動き	・来客数は減少し、商品単価も下がっている。
□	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新型車が出たにもかかわらず販売が余り伸びておらず、代わりに中古車などが出ているため、景気が悪い状況は変わっていない。
□	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・上海のロックダウンが解除になったが、納期遅れ解消には至らず、販売量も変わらない。
□	自動車備品販売店（経営者）	お客様の様子	・車検入庫数は変わらないが交換部品は少ない。人や物の車による移動が少ない影響は1年又は2年後の車検時でないと分からないところがある。
□	高級レストラン（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染も収束しつつあり、少し良くなったような気がするがまだまだである。客は戻っていない。
□	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が多かった時期と比べると多少は客が戻ってきている。しかし、ディナータイムの客は極端に少なく、曜日によってもかなり客が少ない状況が続いている。
□	観光型ホテル（スタッフ）	単価の動き	・エネルギー価格の高騰により収益が悪化している。
□	通信会社（経営者）	お客様の様子	・順調であった集合住宅へのインターネットサービス、オーナー一括契約が伸び悩んでいる。個人の通信サービスへの加入も通信キャリアへの乗換えなどがあり、伸び悩んでいる。放送サービスはテレビのネット同時配信や動画配信事業者との競合が続いており、停滞したままである。
□	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・金利の上昇による個人消費の冷え込みも懸念されるなか、なかなか上向き傾向がみられない。貯蓄傾向にあるため中小企業は投資意欲が後退している。
□	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・客の設備投資意欲に変化はみられず、余り良くない状況に変化はみられない。
□	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・徐々に物価が上昇しており、経費削減要求も強くなっている。
□	競艇場（職員）	来客数の動き	・毎日、固定客のみ来場している。電話の問合せが減っていることで新規客が少ないことが分かる。
□	美容室（経営者）	来客数の動き	・来客数が前年比93%前後で、売上も94%ほどである。客単価は若干増えているが、来客数がなかなか戻らない状況が続いている。当店としては深刻な状況である。
□	美容室（経営者）	来客数の動き	・暖かくなると髪を手入れしたくなる人が増えるため、来客数が増えている。
□	設計事務所（経営者）	単価の動き	・官公庁設計案件としては、新築案件は減少し、改修案件が増加している。受注状況は新築案件は低価格による受注が多く発生している。改修案件は価格の高止まりも増えており、何でも安くという状況ではない。ただし、物価高を考えると景気は下降しているのかもしれない。
□	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・土地、建物共に少額希望客が多く、受注しても客単価が低い。
□	その他住宅〔リフォーム〕（従業員）	販売量の動き	・住宅設備機器は給湯器の交換工事が増えている。リフォームは塗装工事は減ったが、増改築工事は資材、商品の納品遅れが改善したことにより、工事の完了が増えている。
▲	商店街（代表者）	販売量の動き	・燃料費、原料費の値上がりで、価格の上昇が止まらない。

▲	一般小売店〔書籍〕（経営者）	販売量の動き	・出版社の出版企画の数が非常に少なくなっていることが、店頭の商品点数に非常に大きな影響を与えている。
▲	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染状況の収束が進んでいるため、繁華街にも本来なら人が戻るはずだが、深夜のサラリーマン客は全くと言っていいほど戻っていない。ただし、金土だけは若者が歩いている、非常ににぎやかな状況になっている。
▲	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	販売量の動き	・今月に入り、新型コロナウイルス感染症関係の商品の動きも一段落している。前年と比べれば10%ほど落としている。
▲	スーパー（経営者）	単価の動き	・6月の平均1品単価は前年比103%まで上昇してきたが、買上点数は反比例するように前年比95%に近づいている。来客数は依然として変わらずよく推移している。原料高の価格転嫁が広く進み、消費動向は悪くなってきている。
▲	スーパー（営業担当）	来客数の動き	・来客数が97.8%と前年を割っている。週末も前年のような来客数に戻らず来店頻度が減少している。
▲	スーパー（営業担当）	お客様の様子	・6月前半の低温から後半は酷暑と気温の寒暖差が大きく、季節商材の進捗が予想どおりに行かない。後半の酷暑は、消費量の減少にも影響している。農産物への影響も更に深まるようなので、財布のひもは更に固くなると思う。
▲	コンビニ（店長）	来客数の動き	・原油価格の高騰により商品価格が上がっており、客の消費意欲が下がっている。また、建設関係が震災前と同じくらいの不景気だということで、公共事業を中心に現場が激減していて、工事関係者の来客数が目に見えて減っている状況である。
▲	家電量販店（店長）	来客数の動き	・後半は暑くなりエアコンを中心に売上が伸びたが、テレビなどAV機器の売上は前年比90%程度と低くなっている。今後もウクライナ情勢や新型コロナウイルスの問題、値上がりなどの市場動向もあり、客の購買意欲は高まらないと予測している。
▲	家電量販店（店長）	来客数の動き	・農家の人の来店が減っている。
▲	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・来客数はあり受注もあるが、長納期状態により現在の収益にならず、3か月前より若干悪くなっている。
▲	その他専門店〔白衣・ユニフォーム〕（経営者）	販売量の動き	・例年夏物の販売が多くなる時期であるが、今年は動きが非常に良くない。梅雨明けも早く、暑い夏になりそうであるが、景気は冷えているといった感じである。夏のイベントや祭りも縮小ながらも復活したが、今までどおりとはいかないようである。また、値上げの情報も来ている。
▲	その他専門店〔食品〕（経営者）	来客数の動き	・電気料金などのライフラインコストや物価の上昇で、しほ品やぜいたく品の買い控えが始まっている。
▲	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	販売量の動き	・価格高騰により1回当たりの給油数量が減少している。満タン給油を避け、数量指定給油が多いことから、節約志向の強まりがうかがえる。
▲	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	販売量の動き	・暑い日が多く、灯油の販売数量が例年より落ちている。
▲	一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・シーズ的にさくらんぼに絡めた観光等の客もあり日中は人の流れがある。夜も週末は地元の若い世代が繁華街にちらほらみられるが、それ以外はまだまだ静かである。宿泊客はホテルから外に出てこないし、地元の人には他のエリアから人が多数来ると、新型コロナウイルスに感染してしまう可能性を危険視して出てこない。心理的なブレーキにより景気は上昇が止まっている。
▲	タクシー運転手	競争相手の様子	・3月の地震による調査は一段落し、タクシーが街中に戻っている。しかし、夜間の動きがみられない。他社も同様である。この景気では売上が上がらない。

	▲	通信会社（営業担当）	単価の動き	・インフレで各種物価が上昇しており、消費者の支出負担は徐々に増加傾向にある。収入は変わらず家計にダメージを与えている。
	▲	遊園地（経営者）	来客数の動き	・梅雨にもかかわらず天候はまずまずだったが、新型コロナウイルス感染症の影響が残り、学校団体の戻りが悪い。
	▲	その他住宅〔住宅展示場運営会社〕（従業員）	来客数の動き	・全体の来場組数と新規来場組数が前年比で10%減少している。
	×	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	単価の動き	・来客数も悪化しているが、それ以上に単価の下落が顕著であり、改善の兆しがみえない。
	×	スーパー（経営者）	お客様の様子	・可処分所得が伸びないなか、あらゆるサービスの価格が上昇している。客はその値上げを受け入れているだけで、懐具合が良いわけではなく、買い控えている。
	×	スーパー（店長）	販売量の動き	・総菜、菓子以外のカテゴリー全てで前年比マイナスとなっている。
企業動向関連	◎	建設業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・仕事以外の身の回りの人からは景気は余り良くないように聞いているが、客との話ではそれほど悪さを感じていない。
(東北)	○	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・人の動きが良くなり、特に駅や空港の売店は前年比倍くらいの売上になっている。しかし、新型コロナウイルス発生前までは追い付いていない。売上回復はうれしいが、それ以上に原材料や資材費等コストの負担増が厳しい。
	○	食料品製造業（製造担当）	受注量や販売量の動き	・飲食に関するコロナ禍のブレーキが弱まり、アルコール摂取の機会が増えてきている。1店当たりの滞留時間も長くなっている。
	○	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・ウクライナ情勢や半導体不足などの懸念材料はあるものの、足元の受注状況は好調である。
	○	輸送用機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・客先の動きが良くなってきている。案件数の増加、引き合いからの正式注文件数も伸びてきており、以前よりも活発化している。
	○	建設業（従業員）	受注量や販売量の動き	・受注量は増加傾向にあるが、資材価格の値上がり気掛かりである。
	○	公認会計士	取引先の様子	・客の月次、決算状況から判断している。小売、飲食、サービス業は前月以前に比較して売上、利益等改善している客が増加している。建設業などは一定の売上、業績を維持しているため、全体としてはやや回復しているとみている。
	○	その他非製造業〔飲食料品卸売業〕（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・世界的に小麦粉不足で麦価が非常に上がっているが、カップや袋入りの即席めん動きは非常に好調だった。6月1日に値上げが発表されたが、店頭売価に反映されたのが中旬だったことによる。そういった例が非常に多く、前年比約110%と全体的に伸びている。
	□	出版・印刷・同関連産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新規事業は好調だが、本業の印刷は不調である。
	□	出版・印刷・同関連産業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・仕入原価の値上げは2弾、3弾とあるのに、販売価格はなかなか引き上げられない。販売価格の引上げに見合わなければ、受注そのものが取下げられてしまう状況である。
	□	電気機械器具製造業（営業担当）	取引先の様子	・各設備の予防保全において、事後保全にて対応している。
	□	電気機械器具製造業（企画担当）	取引先の様子	・様々なもののオンライン化が進むなかで、ゲームでも進んでおり、電子関連需要の減退はみえない状況である。
	□	建設業（従業員）	受注量や販売量の動き	・震災関連工事など、一定の受注量にて推移している。
	□	輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・売上自体は少しずつ上向いている。しかし、どうしても新型コロナウイルス発生前と比較してしまうので、まだまだ景気が上向いていると感じるところまでいかない。

	□	通信業（営業担当）	取引先の様子	・客の反応をみる限り、少しずつ対面営業しやすくなってきている。
	□	広告業協会（役員）	受注量や販売量の動き	・コロナ禍が一段落している状態で、夏に向けて景気上昇を期待していたが、円安、燃料価格高騰等、先行き不透明感が強い。そのため、販促活動を手控える企業も多く、広告業界は停滞気味に推移している。
	□	経営コンサルタント	それ以外	・消費環境に大きな変化は感じられない。ウィズコロナの生活様式を模索する状態が続いている。
	□	その他企業〔企画業〕（経営者）	それ以外	・町内温泉街への客足は春先から増えてきているものの微増である。夏休み宿泊客や日帰り客の増加に期待したい。
	▲	農林水産業（従業者）	それ以外	・購入した農業生産資材のほとんどが1～2割程度値上がりしている。
	▲	農林水産業（従業者）	受注価格や販売価格の動き	・さくらんぼの出荷価格は、県内全般で豊作にもかかわらず、前年比でそれほど下落しなかったものの、当園が不作だったため収入減少となっている。
	▲	食料品製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・販売量が前年比10%減少となっており、3か月前と比べてやや悪化している。
	▲	窯業・土石製品製造業（役員）	受注量や販売量の動き	・需要の減少に加え、資材高騰等の影響により収益性が悪化している。
	▲	金融業（広報担当）	取引先の様子	・観光宿泊関連は上向きが継続する一方で、仕入高・原料高・輸送コスト高とそれに伴う末端価格上昇により、消費意欲には陰りがみられる。
	▲	コピーサービス業（従業員）	受注量や販売量の動き	・毎月複数の仕入先から、事前の打診もなく一方的な商品値上げの通知が届いている。通知から1か月以内に実施されることが多いため、社内で検討する期間が短く対応に苦慮している。その結果、転嫁するタイミングが遅れて業績に多少の影響が出ている。
	×	*	*	*
雇用 関連 (東北)	◎	*	*	*
	○	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・求人数は順調に推移している。その点では前月から変わっていない。
	○	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・全国的に派遣需要が回復傾向になってきており、景気は徐々に回復傾向の兆しがある。
	○	アウトソーシング企業（経営者）	それ以外	・会議も増えてきているようである。
	○	新聞社〔求人広告〕（経営者）	求人数の動き	・求人広告の問合せが若干増えてきている。ただし、求人広告を掲載しても応募が少ないなど求職者の希望職種に偏りがあり、業種によっては求人難が続きマイナスに影響する可能性もある。
	○	新聞社〔求人広告〕（経営者）	周辺企業の様子	・自動車ディーラー関係の景気が若干上向いている。
	○	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数はほぼ全業種で前年同月より増加し、11か月連続で前年同月を上回っている。また、事業所からは人手不足の声が多く聞こえており、事業主都合の解雇者は13か月連続で減少している。
	○	学校〔専門学校〕	周辺企業の様子	・新型コロナウイルス感染症による経済活動の低迷も落ち着いてきており、様々なイベントやサービスが再開している。人も活動的になり、経済活動も活性化している。
	□	人材派遣会社（経営者）	周辺企業の様子	・ウクライナ情勢による物価高を踏まえると先行き不透明なところはあるが、物流や飲食、ホテル業、旅館業などの求人数は増えている。
	□	その他雇用の動向を把握できる者	周辺企業の様子	・新型コロナウイルスの影響が減少し、人手不足から企業の募集が活発である。
	▲	新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・宿泊関連中心に徐々に出稿増の動きもあるが、新聞広告の売上回復には至っていない。
	▲	職業安定所（職員）	それ以外	・食料品、燃料等あらゆるものの価格が上昇しており、直接生活への影響が大きくなっている。
	×	—	—	—